

| | | | |
|------------------|--|--------------|---------|
| 授業科目名 (英文名) | 学校栄養教育実習 1 (Teaching Prac tice of Nutrition Teacher 1) | 科目区分 対象学生 | |
| 単位数 | 1.0 | 開講年次・ 学期 | 4 年次・前期 |
| 担当教員 | 芦田 宏 尾崎 公子 保坂 裕子 永井 成美 井上 靖子 竹内 和雄 乾 美紀 能瀬 陽子 | 所属 | 環境人間学部 |
| オフィス・場所 | | 連絡先 | |
| 講義目的及び到達目標 | 講義目的：学校栄養教育実習に先立ち、教育実習の意義と目的を理解したうえで、研究授業（課題）の整理と準備を行う。また、教育実習後には、報告会やディスカッション、レポートを通じて教育実習の振り返りを行う。 到達目標：学校栄養教育実習 1 と 2（教育実習）を通して、栄養教諭として必要な知識と能力を身につける。 | | |
| 講義内容・授業計画 | 講義内容 本実習では課題の整理や準備のための事前学習と事後の発表会を行う。 授業計画（担当者全員） 1. オリエンテーション、教育実習日程と実習内容・課題の確認 2. 講義（教職共通 - 教育実習 ・ 授業の方法） 3. 栄養教諭事前指導（個人情報取扱、実習記録・レポートの書き方） 4. 指導案作成実習（T・T授業を想定した指導案作成） 5. 指導案作成実習（T・T授業を想定した細案、板書計画作成） 6. 指導案作成実習（T・T授業を想定した指導案等修正と仕上げ） 7. 教材作成実習（T・T授業を想定した指導案に基づく教材作成） 8. 教材作成実習（T・T授業を想定した指導案に基づく教材仕上げ） 9. 学内発表（教科担任等と連携した食育、T・T授業形式） 10. 学内発表（教科担任等と連携した食育、T・T授業形式） 11. 学内発表（教科担任等と連携した食育、T・T授業形式） 【5月～10月 教育実習】 12. 事後指導（実習報告会パワポ作成・印刷） 13. 事後指導（教育実習報告会前半） 14. 事後指導（教育実習報告会後半） 15. 事後指導（実習報告会）：全体講評、振り返りと実習のまとめ（報告会発表資料修正を含む） | | |
| テキスト | テキスト：資料を配布する | | |
| 参考文献 | 参考文献：『食に関する指導の手引 - 第1次改訂版 - 』（文部科学省刊行書、東山書房） 学習指導要領、小学校の科目等の教科書（必要に応じて） | | |
| 成績評価の基準・方法 | 成績評価の基準： 教育実習の意義と目的を理解したうえで、研究授業のための指導案と教材作成ができた者、および教育実習報告ができた者に単位を与える。講義目的と到達度に応じてSからCまで成績を与える。 成績評価の方法 課題レポート（50%）および発表内容等（50%）を基準として、受講態度（積極的な質問や発言等）を含めて総合的に評価する。 | | |
| 履修上の注意・履修要件 | 履修要件： | | |

| | |
|-------|---|
| | <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校栄養教育、栄養教諭に対する熱意がある者。 2. 以下に掲げる教職に関する科目を全て履修済（または年度内履修完了見込み）であること。 <ul style="list-style-type: none"> ・教職論、教育原論、教育心理学、生徒指導論 ・学校栄養教育の理論と方法、食育指導の理論と方法 3. 栄養教諭、または学校栄養職員採用試験を受ける者。 |
| 実践的教育 | <p>担当教員には、栄養教諭として、学校における食に関する指導等に携わった経験を持つ教員（能瀬）を含む。食に関する指導の手引や学習指導要領等に基づいた指導案作成からTT授業実施までに至る実践的スキルを習得することを目指す。</p> |
| 備考 | <p>教育実習先の指導栄養教諭や学級担任との連絡を密にした上で、課題に関する学習と準備を進める。履修人数や実習日程により一部順序などが変更になる場合がある（オリエンテーション時に連絡する）。また、授業の一部は土曜日に実施する。</p> <p>教室はA311を使用する。</p> <p>栄養計算：PC室の「エクセル栄養君」を使用する。</p> |